

日韓の壁を崩した‘文化の力’

このドキュメンタリーの目的は崔承喜の名声を称えることではない。一人の舞踊家がどのように世界に通じる芸術の境地を切り開いていったかを見せることにある。伝統を受け入れながら常に新しいものを追求していったのがドキュメンタリーの結論であり、同時に金梅子という現代の舞踊家はその精神を受け継いで、韓国舞踊の地平を広げていっているというメッセージをも伝えている。

いまだ日本と韓国の間には壁が残っている。その壁を崩すには文化の力、とりわけ創造的な芸術家の力がどれだけ重要かをあらためて考えさせる作品であった。

1999年10月18日

東亜日報東京特派員 シムキュソン氏

撮影……………宮内一徳
編集……………吉田栄子
音楽……………加古 隆
録音……………瀬谷 満
(2000年/日本映画/カラー/90分)

監督・脚本……………藤原智子

伝説の舞姫 崔承喜

キム・メジャ

— 金梅子が追う民族の心 —

世界の名画を見る会 vol.13

(企画・構成 高野悦子)



第1部 舞踊公演 (14:00~14:30)

韓国舞踊 その伝統と創造

金梅子 (キム・メジャ)
高野悦子 他

第2部 映画上映 (14:50~16:20)

「伝説の舞姫 崔承喜」

■お問い合わせ

財団法人 黒部市国際文化センター
TEL(0765)57-1201 FAX(0765)57-1207

■プレイガイド

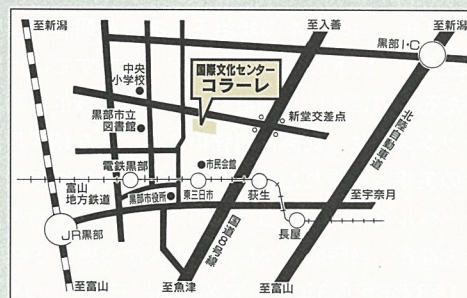
- | | | |
|-----|-----------|----------------|
| 黒部 | コラーレ | ☎(0765)57-1201 |
| | メルシー | ☎(0765)54-2221 |
| | ロイヤルバリー黒部 | ☎(0765)54-1000 |
| 魚津 | 新川文化ホール | ☎(0765)23-1123 |
| | 魚津サンプラザ | ☎(0765)24-3030 |
| 入善 | コスモホール | ☎(0765)72-1105 |
| | コスモ21 | ☎(0765)74-9100 |
| 宇奈月 | 宇奈月国際会館 | ☎(0765)62-2000 |
| 朝日 | アスカ | ☎(0765)82-2000 |
| 富山 | インフォーマート | |
| | [市民プラザ] | ☎(076)491-0110 |
| | [CIC 駅前店] | ☎(076)444-7013 |
| | 北日本新聞社 | ☎(076)445-3300 |
| | 富山県民会館 | ☎(076)432-3111 |
| | 富山映画サークル | ☎(076)432-3931 |
| 高岡 | 高岡大和 | ☎(0766)27-1774 |

2000 4月30日 日

開場13:00 開演14:00

黒部市国際文化センター **コラーレ** 入場料/全席自由 2,000円
(カーターホール) 当日2,300円

※5歳未満のお子さまの入場はご遠慮願います。一時保育を希望される方は事前にご連絡ください。



監修・振付●金梅子 (キム・メジャ)

司会●大竹洋子

コーディネーター●梁順喜 (ヤン・スニ)

照明●原口佳子

サルプリ

出演●高野悦子

韓国南部地方の巫俗音楽を中心に、韓国舞踊の主たる要素をすべて持つ代表的演目。静、重、動の神秘的かつ幻想的な踊りの形に特徴がある。



鳳仙花

ボン ソン ファ

作詞……金享俊 (キム・ヒョンチュン)

作曲……洪蘭坡 (ホン・ナンパ)

出演●高野悦子

民族の受難時代に生まれた国民的歌曲に振付けたもの。

出演……金善美 (キム・ソンミ) 他
創舞会メンバー

金梅子 (キム・メジャ)

12歳で韓国伝統芸能の世界に入り、宮中舞踊、民族舞踊、儀式舞踊等、あらゆる舞踊技法を修める。1972年から91年まで梨花女子大学舞踊科教授として、また76年に創立した創舞会で、伝統舞踊の継承普及と共に、独創性を重視した新しい韓国舞踊の可能性を追求している。日本においても「梅の会」を主宰、在日同胞や日本人の指導にあたっている。88年のソウル・オリンピックでは閉会式の演出を担当した。創舞会芸術監督、中国北京舞踊大学名誉教授。

太平舞

テ ビョン ム

出演●金梅子 (キム・メジャ)

王妃が庭園で遊んでいる。闊達で、平和な様子を表現したもの。韓成俊が創作した伝統舞踊・民族的な音楽で、宮中衣装で舞う。

かつて、全世界から「世紀の舞姫」とうたわれた崔承喜は、1911年、当時日本の統治下にあった朝鮮のソウルに生まれた。1926年、日本の前衛的舞踊家としてすでに世界の舞台を踏んでいた石井漢に入門。朝鮮の伝統的、民族的舞踊とモダンダンスをミックスさせ、民族性の強いユニークな創作舞踊を発表した。天性の美貌と恵まれた体躯とその斬新な舞踊で日本人を魅了、後にノーベル文学賞を受賞する川端康成や未だ青春期にあった三島由紀夫など、当時の錚々たる文化人から絶賛された。

1937年から3年間、アメリカ、ヨーロッパ、中南米の各地の

一流舞台で公演を続け、スタインベック、ピカソ、コクトーなどが観賞している。中国の周恩来首相はバリ公演以来のファンだったという。第2次世界大戦下の1944年、日本の帝国劇場で20日間のロングランの独舞会を満員にした。

戦後は北朝鮮にわたり、一時は舞台活動や舞踊の指導で活躍したが、1960年半ば以降、その消息はわからないままである。この映画は韓国舞踊界の第一人者で、国際的に舞台活動を展開している金梅子さんが崔承喜の足跡をたずね、韓国舞踊の更なる発展の契機とする姿を追う。

(監督・脚本……藤原智子)